

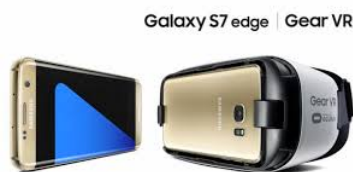
報道関係者各位
プレスリリース

2017年3月23日
株式会社ワンダーリーグ

VRビジネスの大本命 GearVRを徹底調査！
samsung/Oculus提供の「GearVR」向け
アプリ全566個を徹底リサーチした結果を発表します。

モバイルVR向けサービスを提供する株式会社ワンダーリーグ（東京/代表 北村勝利）は、**GearVR**(samsung/Oculus提供)向けに**Oculus Store**で提供されている全アプリを調査、集計したデータを発表させていただきます。

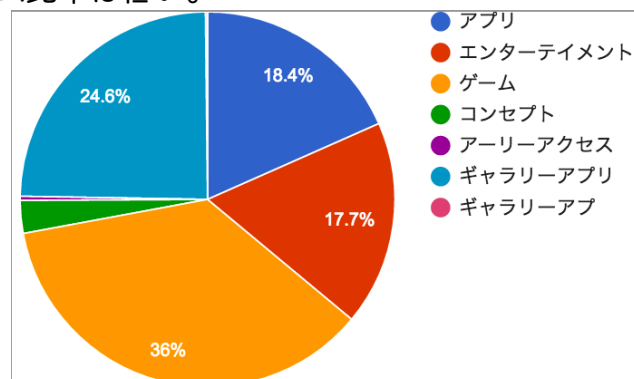
GearVR とはバーチャル・リアリティ（VR）体験ができるヘッドマウントディスプレイ（HMD）。「Oculus Rift」のOculus社が、スマートフォンの「Galaxy」シリーズを提供しているサムスン社と共同で開発したものです。



<分析結果から>

1. 最も多いアプリのカテゴリーは「ゲーム」で36.0%,そして「ギャラリー」が24.6%、「アプリ」が18.4%

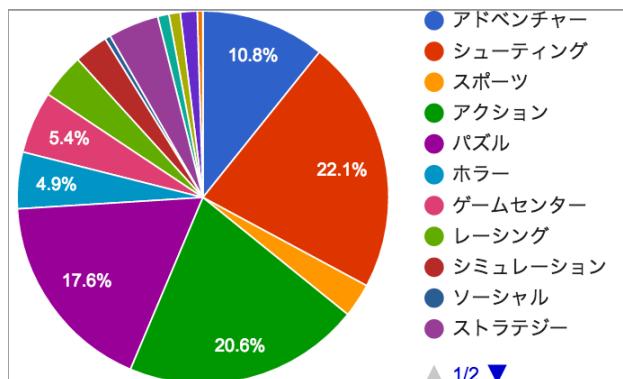
考察) ゲーム以外では動画配信が多い。側面にあるタッチパッドコントローラーで操作することから、独立したコントローラーを持つ類似のVR機器であるDaydreamよりもゲーム比率は低い。



問い合わせ先：株式会社ワンダーリーグ 広報担当 victory@wonderleague.co.jp
東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル25F StartUp base camp内

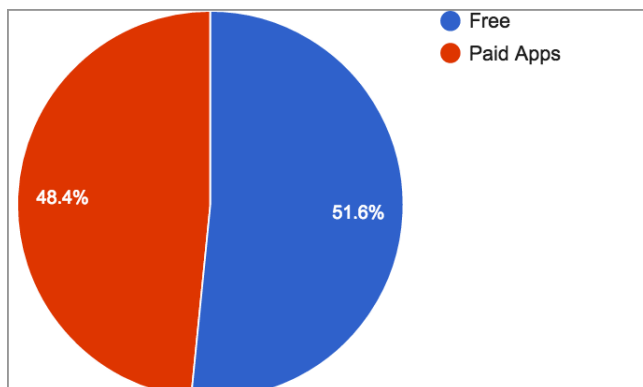
2. ゲーム・カテゴリで最も多いカテゴリは「シューティング」で22.1%、「アクション」20.6%、「パズル」の17.6%

考察) 9割以上がシングルモードでプレイ中はネット環境を必要としないものが大半を占める。既存ゲームからの置き換えが多い傾向にある。



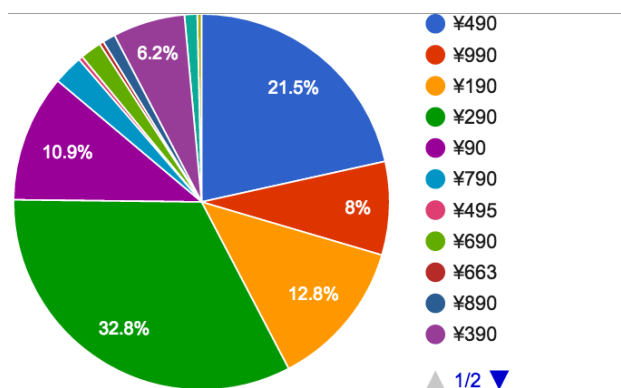
3. マネタイズの種類としては 無料アプリ51.6%、有料アプリの比率は48.4%、従量課金は0%。

考察) 通常のアプリのマネタイズの主流である従量課金はモバイルVRには不向きなことからのことから採用されていない。優良なタイトルは有料で配信される傾向に。*従量課金はIDやパスワードなどの入力手間がかかることから避けられる傾向に



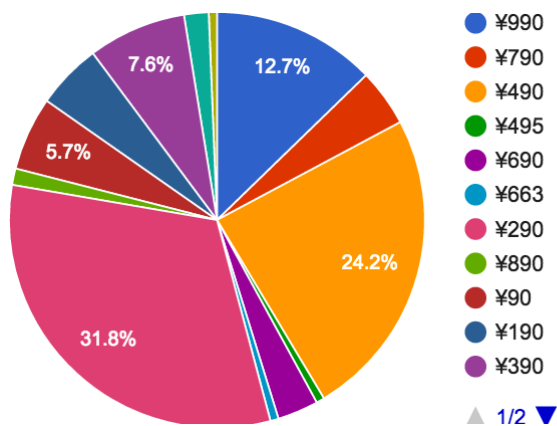
4.有料アプリ全体で最も多い価格帯は290円で32.8%, 490円 21.5%, 190円で12.8%に

考察) 290円と190円の価格帯でほぼ半分を占めるなど、低下価格アプリが多い印象。



5.ゲームアプリに見る価格帯の推移として、最も多い価格ゾーンは290円で31.8%、490円が24.2%、990円で12.7%となっている。

考察) もっとも高額となる¥990ゾーン12.7%にとどまるが、今後は優良タイトルの増加が想定され有料比率、高額比率が高まるものと想定される。



<調査作業について>

最終更新日：2017/3/13

調査方法：Oculus Store Apps（Galaxy S6, S6 Edge, S7, S7 Edge アクセス可能）

利用可能端末：Galaxy S6, S6 Edge, S7, S7 Edge

該当アプリ数：566

集計したエクセルデータを提供しております。当社ホームページから問い合わせください。<http://wonderleague.co.jp/>

<当該調査の目的>

ワンダーリーグは世界に広がるモバイルVR市場に向けた、各種サービス*を展開している事から最新市場動向として定点観測調査を行っております。

- ・ 既存ゲームアプリをリメイク、移植してDaydream市場やGearVR市場に配信するサービスを提供しています。
- ・ 世界初のiPhoneで楽しめるVRコントローラー企画開発しています。
- ・ DaydreamやGearVRといったモバイルVR向けアプリ開発キットを提供しています。

* GearVR, Galaxy, Daydream, Oculusは各社の登録商標です。

問い合わせ先：株式会社ワンダーリーグ 広報担当

victory@wonderleague.co.jp

東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル25F StartUp base camp内